

モニターレポート(2月報告)

【報告内容①】

JR橋下流側の新砂州の様子

新砂州にいつの間にか鳥類が集まるようになりましたが、白鳥も随分多くなり、これで白鳥観察が楽しくなり、人も集まるでしょう。

〈事務所からのコメント〉

JR白新線阿賀野川橋梁の下流の砂州ですが、泰平橋の方向に向かって延びているように見受けられます。水位によって状況は変わりますが、砂州に鳥が見られるようになったことは微笑ましく思います。上流の中州でも、たくさんの白鳥を見ることができます。

【報告内容②】

昨年の阿賀野川洪水もそうですが、今年の降雪量の多さに参ってしまいます。平地に住んでいる私でさえそう思うのですから、山間地及び中越地区にお住まいの方は、本当に大変だと思います。今回は河川敷の意外な役目に気づかされました。というのは、我々が処理に困る雪を、この広い河川敷が引き受けてくれているのですね。私が見にいった7日の夕方、河川敷の一角で集められて捨てられた雪を、大型重機に乗った作業員の方が一生懸命整理されていました。これだけの雪が融けるのに、何ヶ月もかかるんだろうなと思って見ていました。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川の河川敷は、雪捨て場として利用されています。阿賀野川沿川の新潟市北区、東区、江南区そして阿賀野市も雪捨て場を設置しています。

雪捨て場を設置する場合は、河川法の許可が必要です。しかし、豪雪のために事前に許可を受けた範囲では収まりきれなくなっています。河川管理者としても、新潟市や阿賀野市からの拡大の要請に応えるべく、必要に応じて、迅速に対応するようにしているところです。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

阿賀野川床固め公園まで下りようと思いましたが、雪のため途中までしかいけませんでした。

阿賀野川の対岸も雪で真っ白でした。付近はただただ白い雪です。川の様子を観察していて聞こえるのは満願寺閘門に流れる水の音とトラックの走る音だけでした。

真冬には床固め公園付近にも誰もいなく寂寥感が漂っていました。

〈事務所からのコメント〉

今冬は、大雪と寒い日が続いたため、阿賀野川にはまだ雪が積もっています。高水敷には、人の足跡もなく、たまに動物と思われる足跡を見つけることがあります。まさに人の入らない自然のままの光景が広がっています。

【報告内容④】

2月28日(火)

横雲橋から安田方面へ、右岸を車でドライブしました。

今日は天候はまあまあ良い日ではありましたが、10日前の大雪がまだたくさん残っていて、きょうがせ防災ステーションの先は道路が除雪されていなくて、下の道へ降りて進みました。

いつも降りたつ公園や水辺プラザも近くに行くことはできず、今年の大雪を本当にすごかったんだと再認識しました。

阿賀野川はいつものようにゆるくゆったり雄大に流れ、美しい景色でした。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川防災ステーション(旧称:きょうがせ防災ステーション)から上流羽越線までの間の堤防道路は、阿賀野市が管理していますが、冬期間は、閉鎖しているとのことです。

3月に入り雪融けも進んできたことから、阿賀野川本来の豊かな水量に戻りつつありますが、融雪洪水になってしまう事もあり、油断のできない季節でもあります。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容⑤】

今月は雪が非常に多く、早出川、阿賀野川共に観察することが難しかったが、1ヶ月通して川の流れは穏やかで、特に問題はなかったです。

3月になれば雪も降らなくなり、観察もしやすくなってくると思います。

本当に雪深く、新潟の冬の厳しさを実感させられた月でした。

〈事務所からのコメント〉

冬季になると、山間部は雨から雪に変わり降り積もるため、1月から2月にかけては河川の水量が少なくなります。

春になると、これらの積もった雪が融けて河川の水量が豊富になります。気温が上がって雨が降ると洪水になることもあります。

河川に積もった雪の下には、危険な箇所が隠れていることもありますので、十分気をつけて観察をしてください。私共も春の訪れを心待ちにしています。

【報告内容⑥】

平成23年7月末の新潟・福島豪雨被害がでた新潟県関係を御報告致します。

昨年(2021年)の11月28日に開かれた県文化財保護審議会(2021.11.28)で自然災害によって文化財の被害が20件に上ることが分かった。

主な例として、

- 1)「中尾のスギ」(十日町市)
- 2)国の名勝に指定されている庭園「貞観園」(柏崎市)
- 3)県指定の史跡「樺沢城跡」(南魚沼市)

県によると、貞観園は豪雪で建物の一部が倒壊するなどしたり、地震で土蔵の壁がはがれたりした上、豪雨で裏の斜面が崩れ、園内に土砂が流れ込んだ。一部はまだ壊れたままで、国の補助を申請し、修繕工事に着手するという。残念ながら阿賀野川関係(文化財)の情報は小生のテリトリーでは見つかりませんでした。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川の沿川には、多くの史跡や文化財があります。阿賀野川は、それらを生み出してきた先人達を、時には優しく、時には厳しく育ててきたのでしょう。

今でも私達に恩恵をもたらしてくれる阿賀野川の四季折々の自然も、是非堪能してください。

※複数のモニター報告を要約してあります。